

富士山植林地における小動物調査報告

室村 聡

昨年に引き続き、2年目の調査。昨年は幸いにしてネズミの姿をとらえることができた。今年もネズミに再会したいし、さらにはほかの種もできればとらえたいと思い続けてみた。

第1回 5月7日 晴れ

山の会の仲間と声をかけて私含めて3人で行った。3人いたので入り口広場の周りの林の中に「コ」の字型に10か所餌箱を設置した。

このときは看板付近の1か所(10番)だけに訪問者が来ただけだった。それも昨年「日没後1時間くらい経過したのち餌取りの行動をする」とした時間よりも早い時間に来て、ピーナツ1個だけ持って行った。

そこでピーナツを補給して餌箱の周りを3人で囲んで待った。次の調査時間が来て他の餌箱を点検



し、戻ってきてまた10番を監視した。が結局この日は全然姿を現わさなかった。



10番の餌箱 結局姿を現さずそのまま残った。

クルミを持っていかなかったので、クルミを食料としない小動物がいるのだろう。しかも行動時間が早い。上記の考え方と違う行動をする小動物なのだろうか？そして遠慮深くピーナツ1個で満足してくれる動物なのだろうか？

このように考えたがあまりに空想的すぎる。次回に証明できるだろうか。楽しみだ。

第2回 6月9日 曇り

この日は山の会の人と2人で調査した。

夜間しか行動しないのかということも含めて朝から植林地に行き、前回同様10か所に(設置した場所は多少のずれはある)設置した。

午前中は植林地内、西臼塚周辺を2人で散策して時間を過ごした。

午後2時頃から本格的に調査を始めました。夜間ではないので1時間ごとに見て回り。すべての餌箱は18時まで何の変化も見られなかった。

18時以降は30分ごとに観察。このことからやはり餌取り行動は夜間に行うことがほぼ確定できたかなと思う。

結論からいくと10番(看板付近に設置)以外は全く変化なく、餌はそのまま残っていた。

10 番については 18 時 30 分に行ったところピーナツ 1 個運び去っていた。そこでピーナツを補給して 2 人で待機して待ったがその後は全く現れなかった。

この日の日没時間は 18:55 頃で日没以前に餌を取りに来て、裏をかかれてしまった。

たぶん曇り空で空が暗かったこともあると思う。とあとから考えたこと。

前回考えたピーナツ 1 個で満足してくれる小動物（5 月 7 日と同じものと考えerわけではないが）がいると云うこと。しかも行動時間も「日没」という考え方にとらわれていないと云うこと。昨年のことから考えると看板付近にはクルミは食べない別の小動物が生息していると判断してもよさそうだ。以上が今回の成果と言える。

それにしても昨年姿を見せてくれた「アカネズミ」は今のところ全く餌箱を訪問していない。これはどう考えたらいいのだろうか。新たな疑問が出てきた。

夜行性の動物であることは明確になった。

7 月も予定したが雨のため中止

第 3 回 8 月 29 日 曇り、風が少しあり

山の会の二人で調査。

この日は決定的なミス、カメラを忘れて気持ちが落ち込んでいた。

5:30 開始。5:45 セット完了。今回は範囲を狭めて 5 か所にセット

1, 2 はかぼちゃの種、スイカの種を置く。3~4 は今まで通りクルミ、ピーナツを置く。かぼちゃの種を置いたのは、餌が小粒なので持ち帰って食べるのではなく、その場で何粒も食べるだろう、そうすれば長時間姿を見ることができないのではないかと考えて行った。また、餌による食欲？の違いがあるか調べるつもりだった。

ガスが出始める。まだ虫、鳥が鳴いている。

6:30、7:00、7:30、8:00、8:30 と 5 回まわったがどの餌箱にも現れず。8:30 で終了する。

第 4 回 9 月 18 日 晴れ

同じメンバー 2 人で行く。日没：17:40 頃

18:00 餌箱 5 か所セット、クルミ、ピーナツ、かぼちゃの種

満月 1 日前で月明りはあるものの樹林の中は暗く、ライトがないと歩けない。5 か所セットしてもどこもヒットなし。ネズミの行動が変わったのか、住処が変わったのか良くわからない。

結局今回も成果なし。

今回から餌箱位置の目印のハタザオに反射テープを貼ったので暗くても遠くからでも見つけることができ、餌箱探しは楽になった。

次回は餌箱セットの場所を変えてみることにする。

第 5 回 11 月 5 日 晴れ

今回は単独で調査。

5:30 餌箱セット。「縄文の丘」への道筋に沿って 10 か所セットした。18:00 から 30 分ごとに見て回ったが、今回も全くヒットなし。

餌に 10 月に富士山で採取したブナ、ミズナラ、ヤマボウシなどをたっぷりと置いた。その後クルミ・ピーナツも追加したが残念な結果となってしまった。

目につきやすい反射
テープ



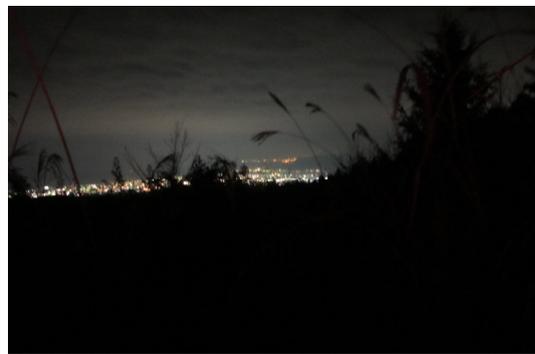
餌箱の中身
ブナ・ミズナラなど



今年はネズミに活動の動きが見透かされてしまったのか、ねずみに裏をかかれてしまったようだ。

今年はブナやミズナラなどが豊作年で森の中はドングリがいっぱい落ちていた。ネズミもドングリ類の乏しい植林地を離れて豊かな森に移動したのだろうと考えて溜飲を下げることにした。

また来年新たな気持ちでネズミに向かい、調査を続けてみたい。できれば調査地の範囲も広げてみたいと考えている。



「縄文の丘」からの駿河湾方面の夜景